



## プレスリリース

全国医学部長病院長会議(AJMC)が「令和6年度大学病院の経営状況」を公表

### ○ 概略

全国医学部長病院長会議では、国立大学病院、公立大学病院、私立大学病院の経営状況の推移について、これまでに調査した結果をもとに整理した。

各大学病院の経営は、これまで以上に厳しい状況になっており、特に物価高騰および賃上げへの対応に伴い経営状況は悪化し、大学病院本来の機能を維持していくことが困難な状況に陥っており、さらにこのままでは病院閉鎖による地域医療崩壊となり国民の健康や福祉に影響が出る恐れがある。

このような状況を改善するため、国(厚労省は診療、文科省は教育・研究)においては、緊急に財政支援を行うよう要望する。

令和6年度の全国の大学病院の経常利益の集計結果

### **全国の大学病院で ▲508 億円**

#### 【内訳】

国立大学病院(42病院)	経常利益	▲286 億円
公立大学病院(8病院)	経常利益	▲91 億円
私立大学病院(31病院)	経常利益	▲131 億円

○ 掲載場所:<https://ajmc.jp/>

一般社団法人全国医学部長病院長会議(AJMC)は全国の国立私立大学の医学部長(医科大学長)、大学病院長を会員とする唯一の団体です。

医育機関共通の教育、研究、診療の諸問題、これに関連する重要事項について協議し、相互の理解を深めるとともに意見の統一をはかり、わが国における医学並びに医療の改善向上に資するために活動を行っており、その時代のニーズに迅速に対応するために16委員会、6WGを立ち上げています。

一般社団法人 全国医学部長病院長会議(AJMC)  
(担当:横山、廣田)  
〒113-0034  
東京都文京区湯島 1-3-11 お茶の水プラザビル 4F  
TEL: 03-3813-4610 FAX: 03-3813-4660  
携帯: 080-2093-4208  
E-mail: info@ajmc.jp

本件問合せ先  
(一社) 全国医学部長病院長会議事務局  
TEL : 03-3813-4610  
FAX : 03-3813-4660  
Mail : info@ajmc.jp

# 大学病院の経営状況について

令和7年9月30日

一般社団法人全国医学部長病院長会議  
会長 相良 博典



## 大学病院の経営状況について

全国医学部長病院長会議では、国立大学病院、公立大学病院、私立大学病院の経営状況の推移について、これまでに調査した結果をもとに整理した。  
各大学病院の経営は、これまで以上に厳しい状況になっており、特に物価高騰および賃上げへの対応に伴い経営状況は悪化し、大学病院本来の機能を維持していくことが困難な状況に陥っている。早急な対応がなければ国民の健康や福祉に影響が出る恐れがある。

### ※ 令和6(2024)年度 経常利益

国立大学病院(42病院) 経常利益 ▲286億円  
公立大学病院(8病院) 経常利益 ▲ 91億円  
私立大学病院(31病院) 経常利益 ▲ 131億円

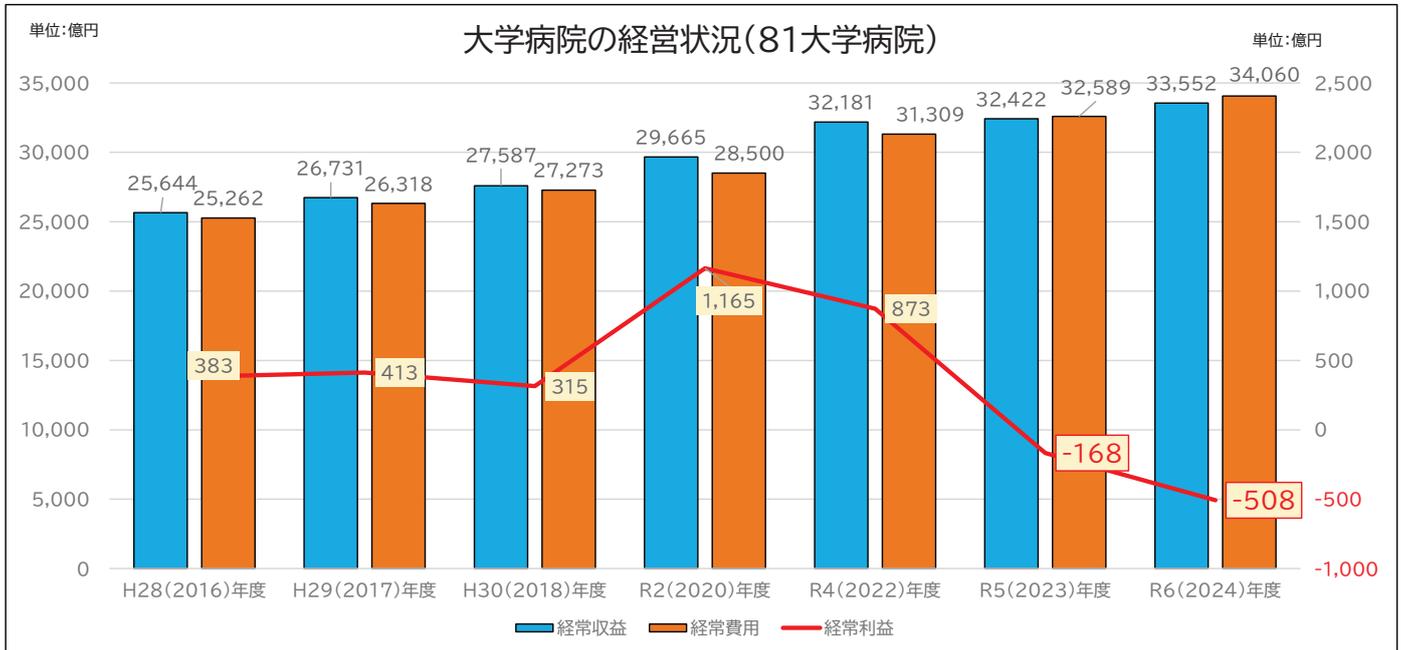
国公立大学病院の経常利益

▲ 508億円

# 1. 大学病院の経常収支(国公立大学 81大学病院)

## ○ 大学病院の経常収支の推移

大学病院全体(国公立)の経常収支の推移を見ると、令和4(2022)年度までは費用が収益を上回ることはなかったが、令和5(2023)年度から費用が上回り経常利益が▲168億円となった。令和6(2024)年度では収益が前年度比で1,130億円増加しているものの費用が対前年度比で1,471億円と収益を大きく上回った結果、経常利益は▲508億円と大きく悪化している。



出典：文部科学省医学教育課のデータを全国医学部長病院長会議で加工  
国立大学病院長会議のデータを全国医学部長病院長会議で加工

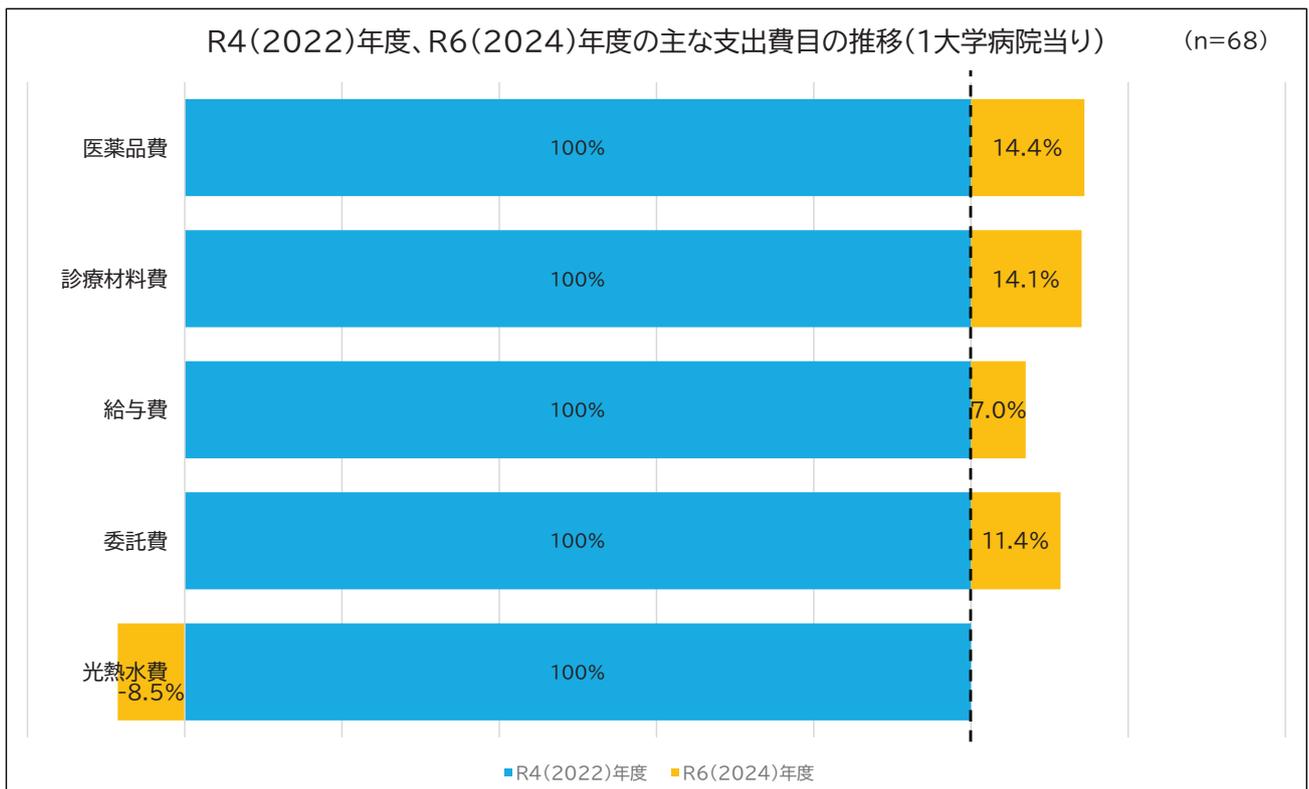
3



一般社団法人 全国医学部長病院長会議

# 1. 大学病院の経常収支(1大学病院当たりの主な支出費目の推移)

・2022年度と2024年度の主な支出費目の推移を調査した結果、医薬品費14.4%増、材料費14.1%増、給与費7.0%増、委託費11.4%増となっている。



※全国医学部長病院長会議「大学病院の経営状況等に関する調査(2025年6月)」

4

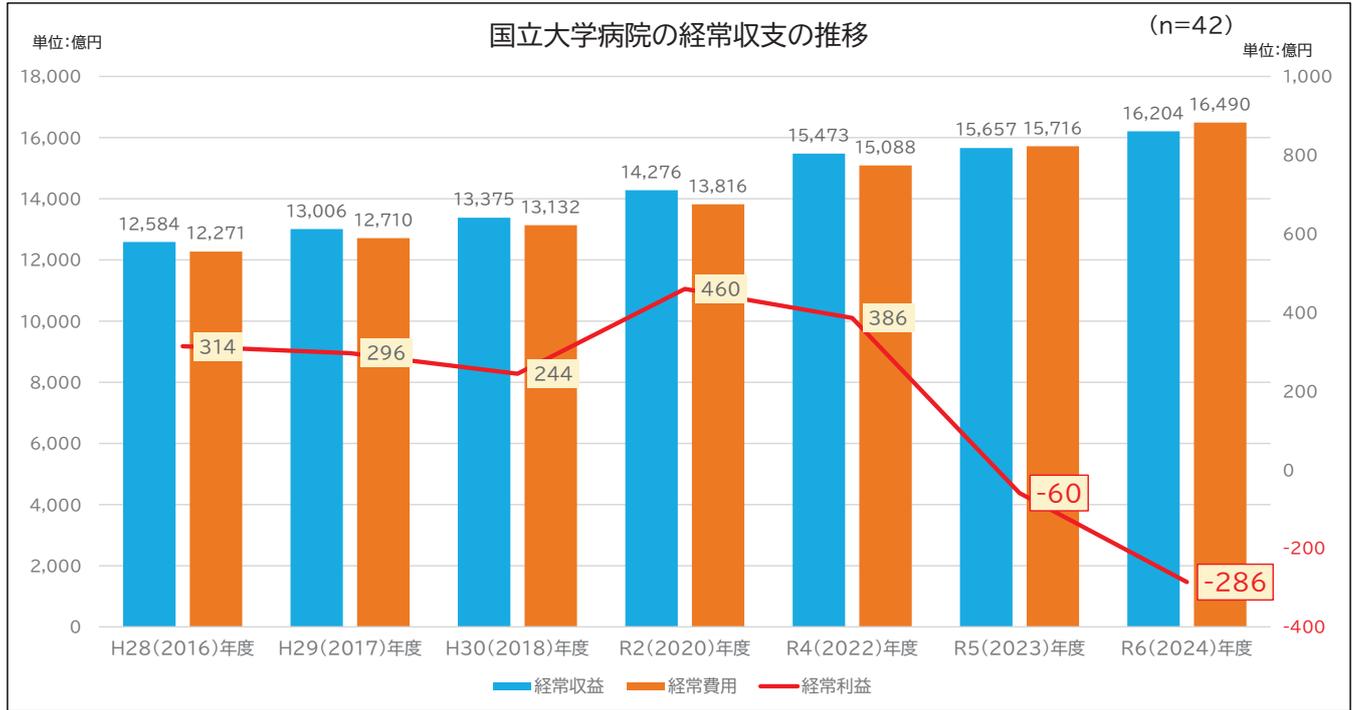


一般社団法人 全国医学部長病院長会議

# 1. 大学病院の経常収支(国立大学 42大学病院)

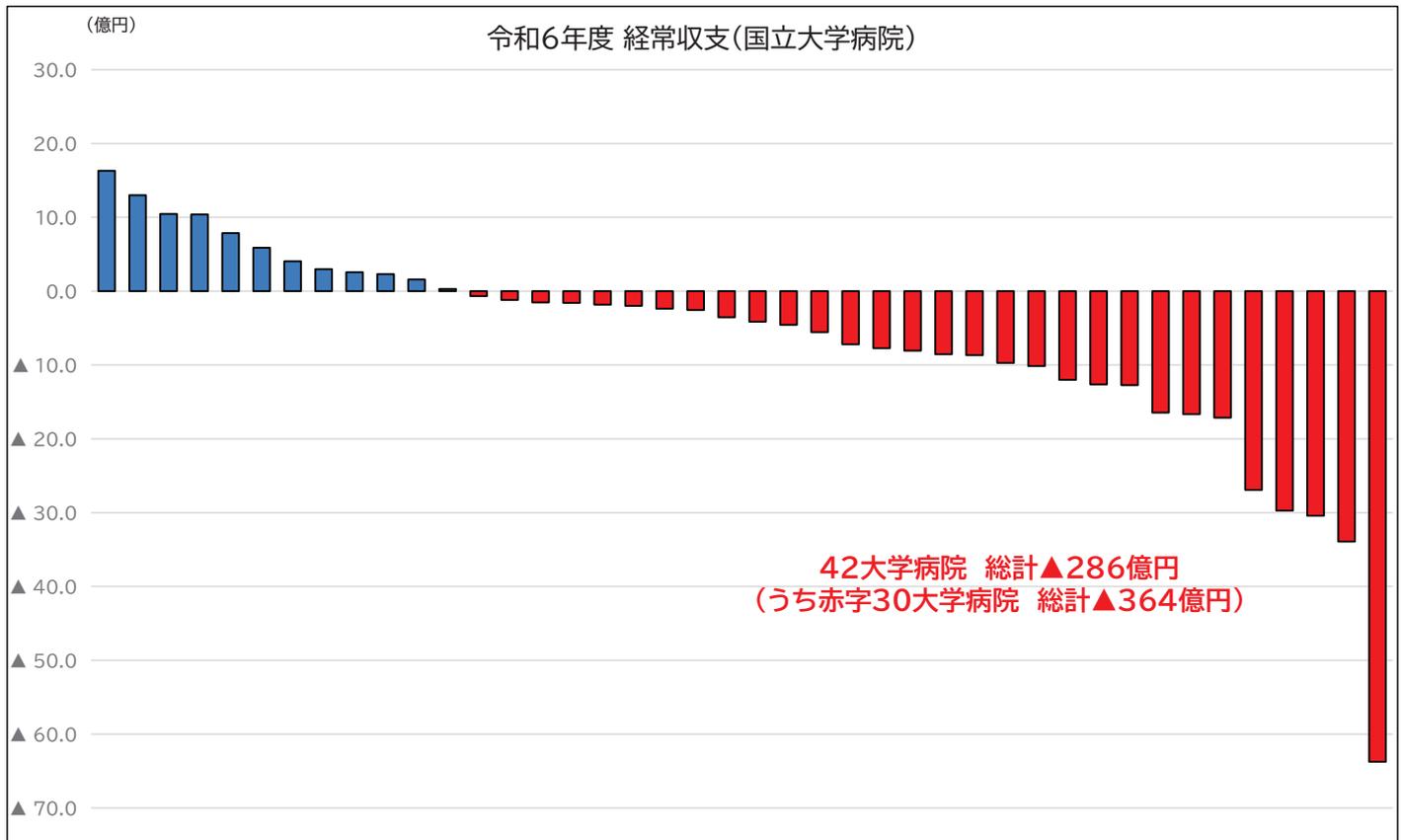
## ○ 国立大学病院の経常収支の推移

国立大学病院の経常収支の推移を見ると、令和5(2023)年度は経常利益が▲60億円であった。令和6(2024)年度は収益が前年度比で547億円増加しているが、費用が対前年度比で774億円と収益を大きく上回って増加したため、経常利益は▲286億円と大きく悪化している。



出典：国立大学病院長会議のデータを全国医学部長病院長会議で加工

## 令和6年度 国立大学病院における経常収支の比較

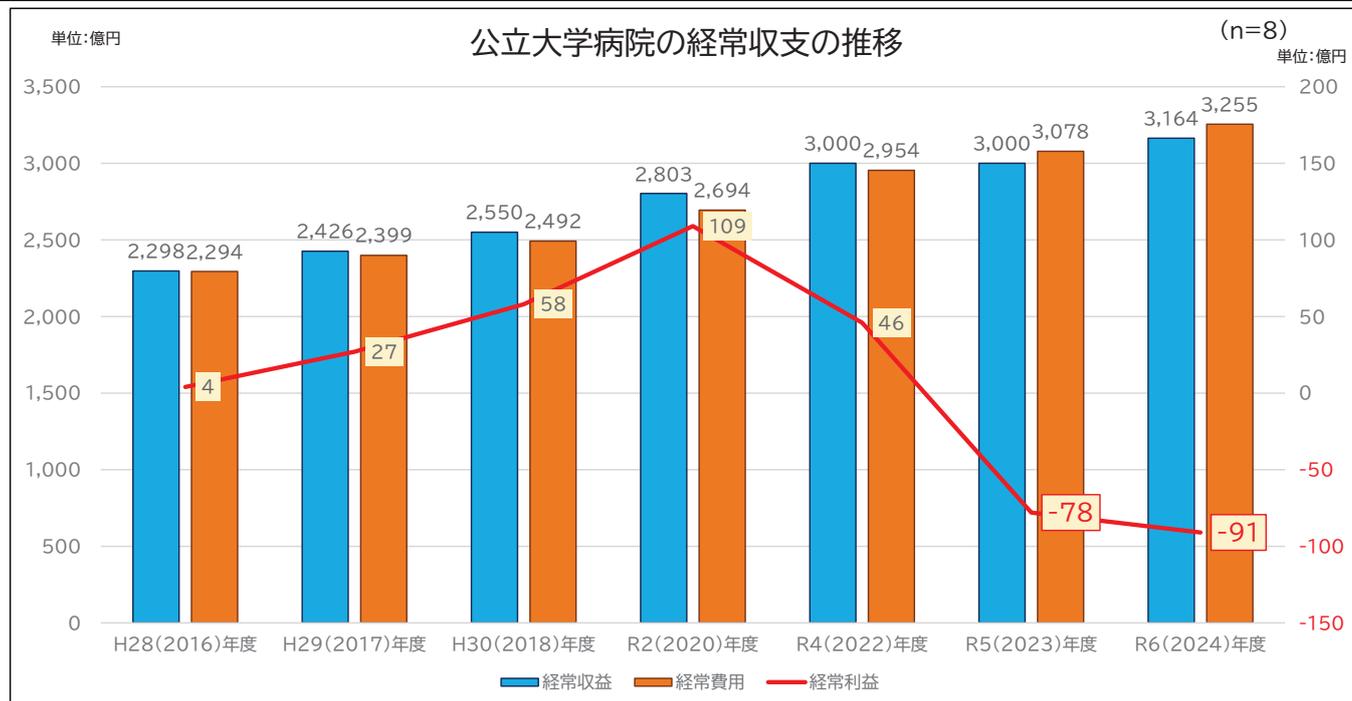


出典：文部科学省医学教育課のデータを全国医学部長病院長会議で加工  
国立大学病院長会議のデータを全国医学部長病院長会議で加工

# 1. 大学病院の経常収支(公立大学 8大学病院)

## ○ 公立大学病院の経常収支の推移

公立大学病院の経常収支の推移を見ると、令和5(2023)年度は経常利益が▲78億円であった。令和6(2024)年度は収益が前年度比で164億円増加しており、費用は対前年度比で177億円の増加にとどまったため経常利益は▲91億円となったが、1大学当たり換算すると▲11億円とかなり厳しい経営状況になっている。

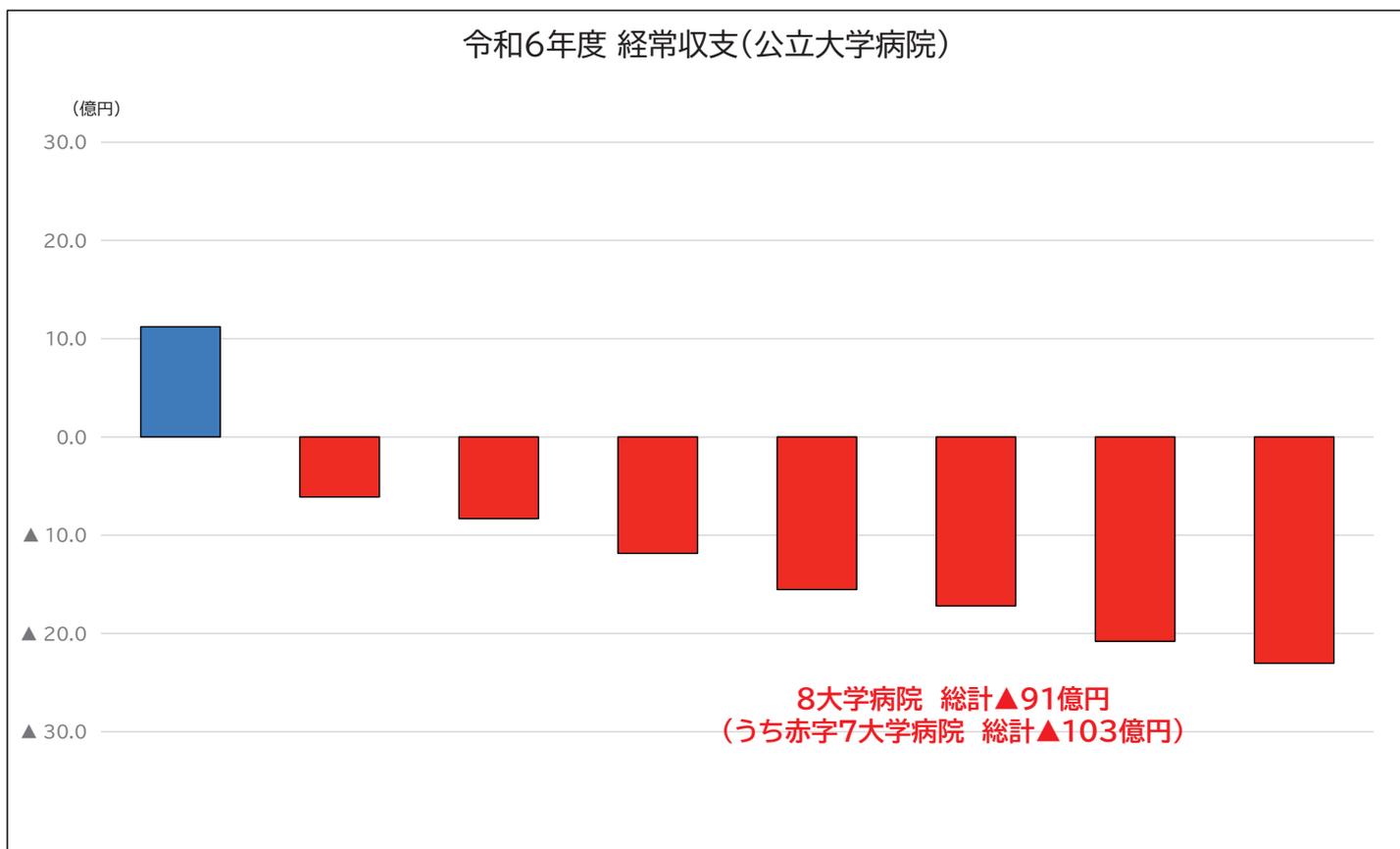


出典：文部科学省医学教育課のデータを全国医学部長病院長会議で加工



一般社団法人 全国医学部長病院長会議

## 令和6年度 公立大学病院における経常収支の比較



出典：文部科学省医学教育課のデータを全国医学部長病院長会議で加工

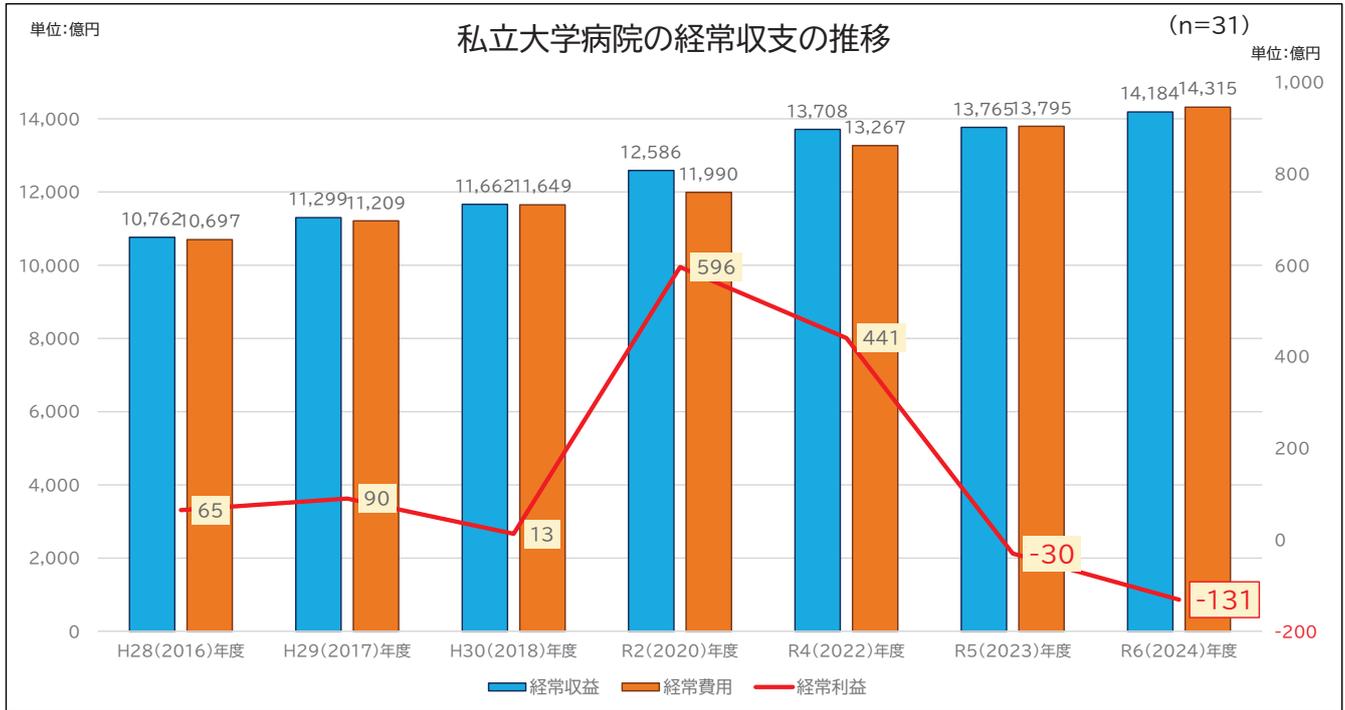


一般社団法人 全国医学部長病院長会議

# 1. 大学病院の経常収支(私立大学 31大学病院)

## ○ 私立大学病院の経常収支の推移

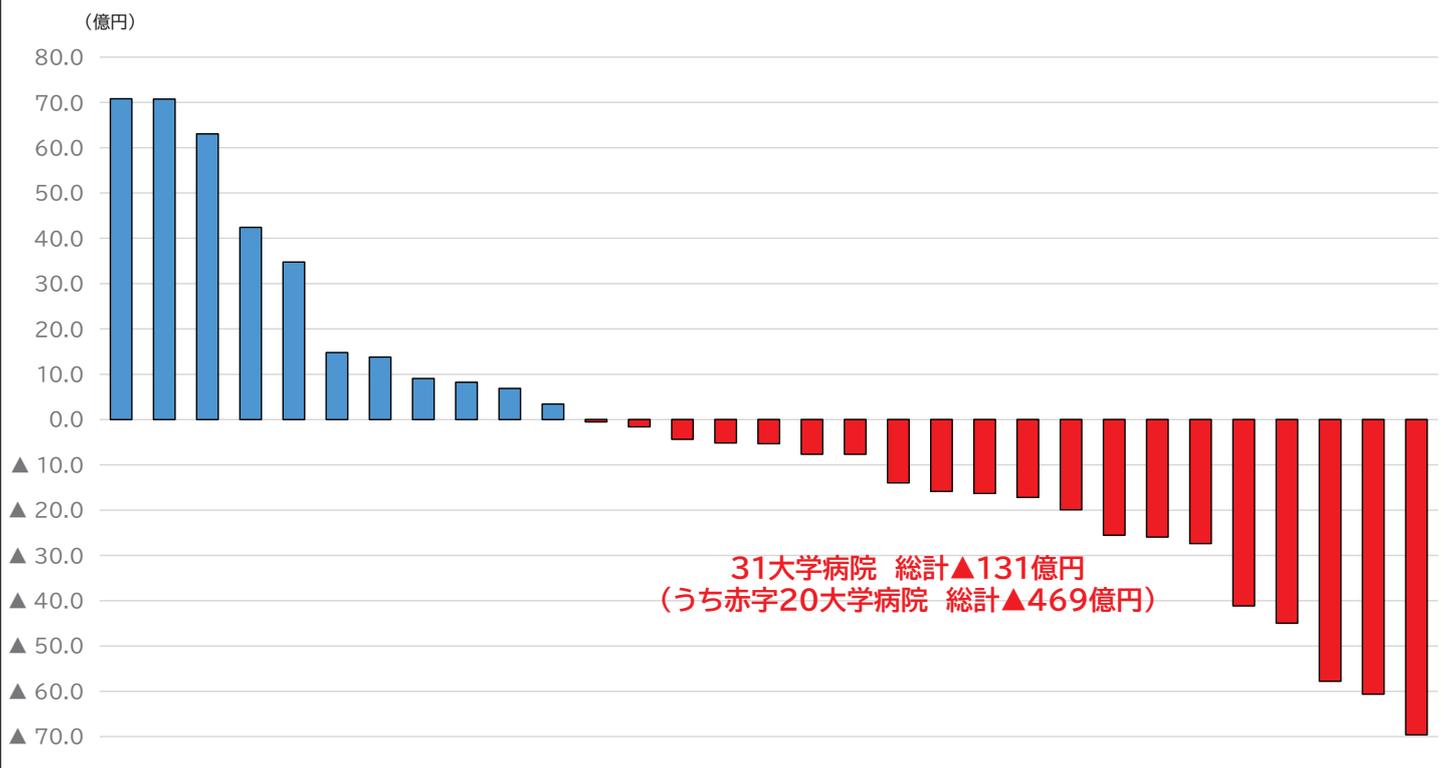
私立大学病院の経常収支の推移を見ると、令和5(2023)年度は経常利益が▲30億円であった。令和6(2024)年度は収益が前年度比で419億円増加したが、費用が対前年度比で520億円と収益を大きく上回って増加したため、経常利益は▲131億円と大きく悪化している。



出典：文部科学省医学教育課のデータを全国医学部長病院長会議で加工

## 令和6年度 私立大学病院における経常収支の比較

令和6年度 経常収支(私立大学病院)

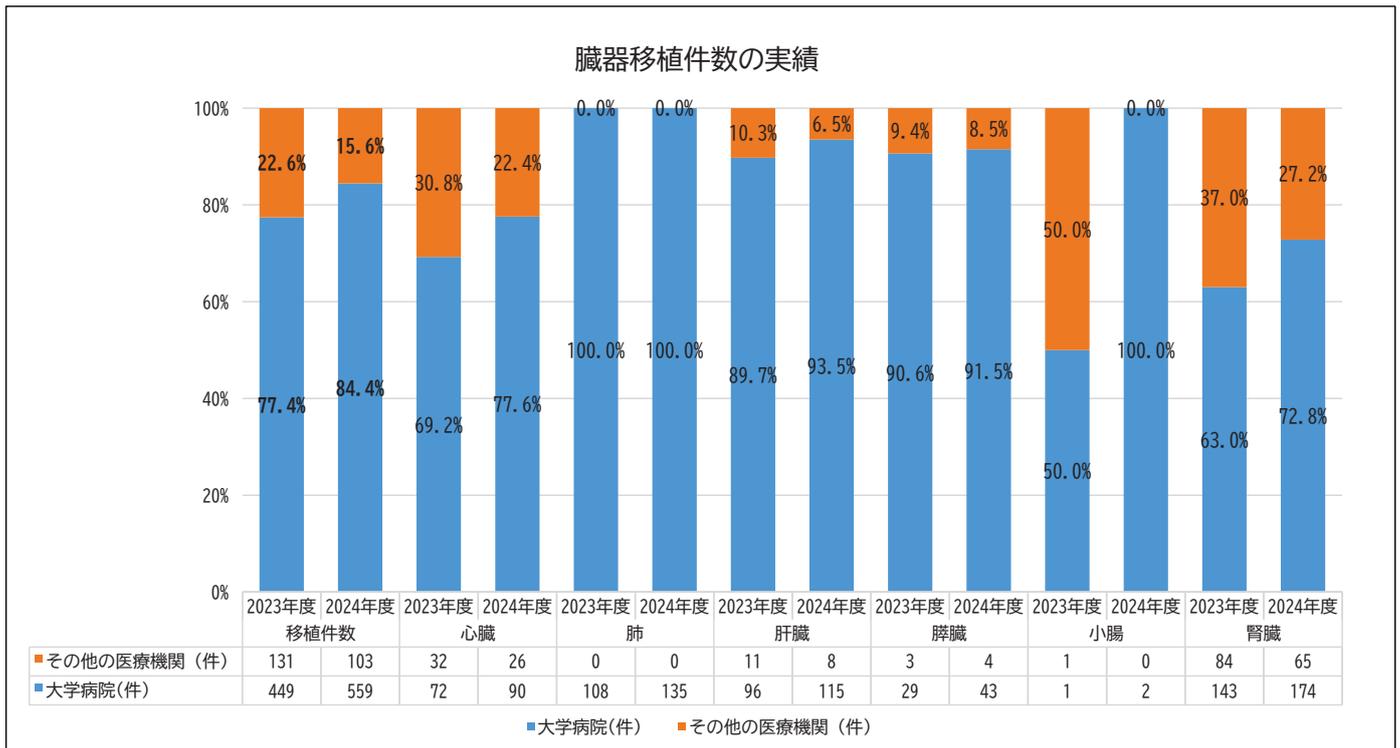


出典：文部科学省医学教育課のデータを全国医学部長病院長会議で加工

※ 特別収益・特別損失は除く 10

## 2.大学病院の実績(臓器移植施設および移植件数)

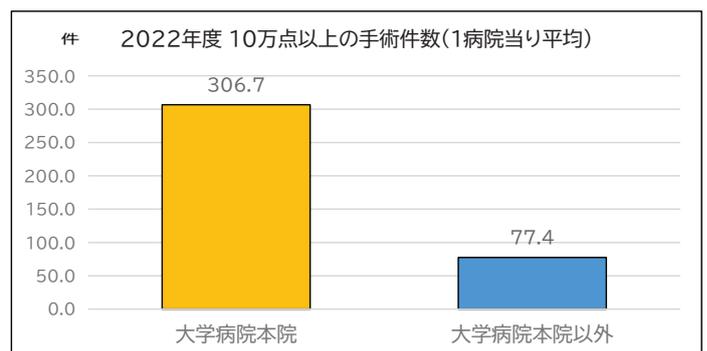
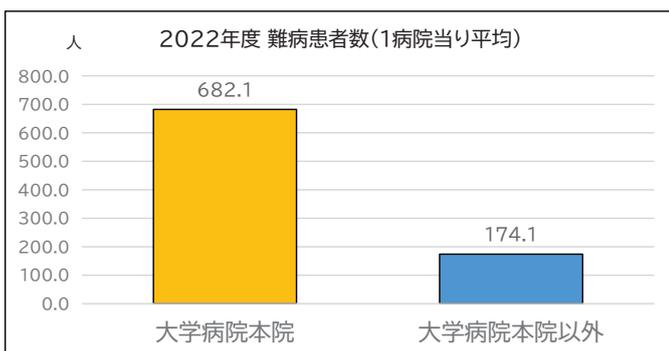
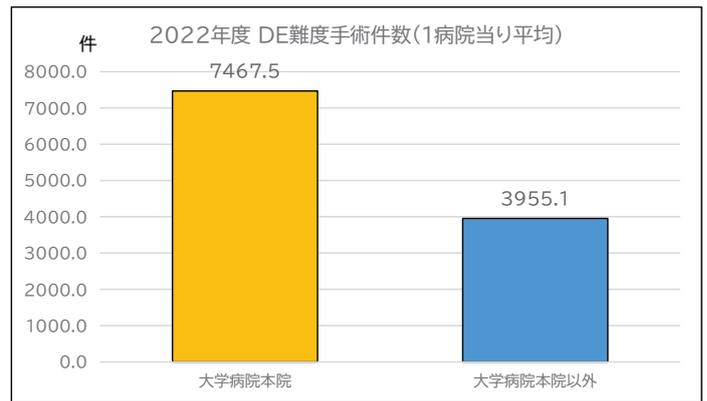
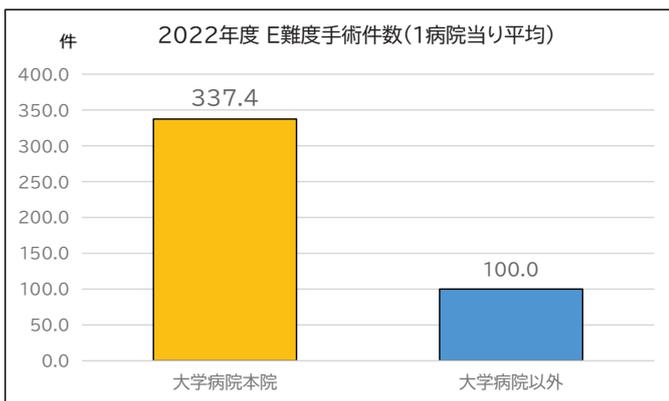
○ 移植施設として、大学病院において、2024年度は全体の84.4%(前年度は77.4%)の臓器移植を実施している。



※(公社)日本臓器移植ネットワーク調査・研究部まとめをAJMCでグラフ作成

## 2.大学病院の実績(E難度およびD、E難度の手術件数、難病患者数および10万点以上の手術件数)

○ 大学病院本院は、DPC標準病院と比較して、非常に多くの難病患者の診療や高難易度な手術を実施している。また、他の病院に比べて難病患者を多数受入れ、10万点以上の手術も多数実施している。



※1 厚生労働科学研究「入院医療の評価のためのDPCデータの活用及びデータベースの活用に関する研究」研究班よりデータの提供を受け、文部科学省医学教育課において作成

※2 日本外科学会において、12年以上修練を積んだ特殊技術を積んだ専門医が行うとされる最高難易度の手術を難易度Eとしている。

# 全国医学部長病院長会議の概要

○ 名 称:一般社団法人全国医学部長病院長会議(AJMC)  
Association of Japan Medical Colleges

○ 設置目的:

医育機関共通の教育、研究、診療の諸問題及びこれに関連する重要事項について協議し、相互の理解を深めるとともに意見の統一をはかり、わが国における医学並びに医療の改善向上に資することを目的とする。

○ 組 織:

- ・ 全国82大学医学部長、附属病院長で構成する団体
- ・ 国立43大学、公立8大学、私立31大学
  - 会 長:相良 博典 昭和医科大学病院長
  - 副会長:鶴田 大輔 大阪公立大学医学部長
  - 理 事:30名

○ 事 業:

- (1) 医育機関の教育、研究の振興及び診療の充実に必要な調査研究と情報の交換
- (2) 医育機関の教育、研究及び診療における相互の協力について必要な事業
- (3) わが国における医育機関の代表団体として、内外の医学教育に関連する団体との交渉及び情報の交換
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業